

報道機関各位

2015年8月27日
塩野義製薬株式会社
日本イーライリリー株式会社

— 線維筋痛症患者の疼痛（痛み）に対する意識・実態調査 —

家庭や職場で痛みを理解してもらえず苦悩する線維筋痛症患者
6割超「痛みで通勤・通学、家事ができないことがある」

**8割超が周囲に理解されずつらいと回答、
「起きられない、眠れない」それでも約7割は周囲から怠けていると言われている**

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功）と日本イーライリリー株式会社（本社：神戸市中央区、代表執行役社長：パトリック・ジョンソン）は、2015年5月に、線維筋痛症患者309名*1を対象とし、疼痛（痛み）に対する意識・実態に関するインターネット調査を実施いたしました。

線維筋痛症は、全身の痛みを主症状とし、原因が解明されていないアンメット・メディカル・ニーズ（未だ満たされていない医療ニーズ）の高い疾患です。厚生労働省研究班において2004年に行われた全国疫学調査によると、日本人の線維筋痛症有病率は人口比1.7%であり、200万人以上の潜在患者がいると推定されています*2。今回の調査は、線維筋痛症の主症状である痛みが、患者さんの生活や対人関係に与える影響を明らかにすることを目的に実施しました。

その結果、痛みが原因で通勤・通学、家事ができないことがあるという患者さんが6割を超えることが明らかとなりました。起床・就寝に影響が出て、ひどい時期には週1日以上遅刻や欠席（家事ができない）をするなど、痛みが日常生活を困難にしている実態が浮かび上がりました。

それにもかかわらず約7割の患者さんは、家族や職場など周囲から怠けていると誤解を受けており、「気持ちの問題」、「大げさ」、「さぼりたいだけ」など、周囲からの心ない発言に苦しむ方も多かったです。また、8割以上の患者さんが痛みを周囲から理解されずつらいと感じており、痛みにより家族や職場など周囲へ迷惑をかけているという罪悪感を持っておられました。

こうした周囲の不理解は、痛みが目に見えないこと、疾患認知が低いことが要因にあると感じている方も多く、疾患認知と痛みによるつらさの啓発は、患者さんのQOL向上のためにも重要であることがわかりました。

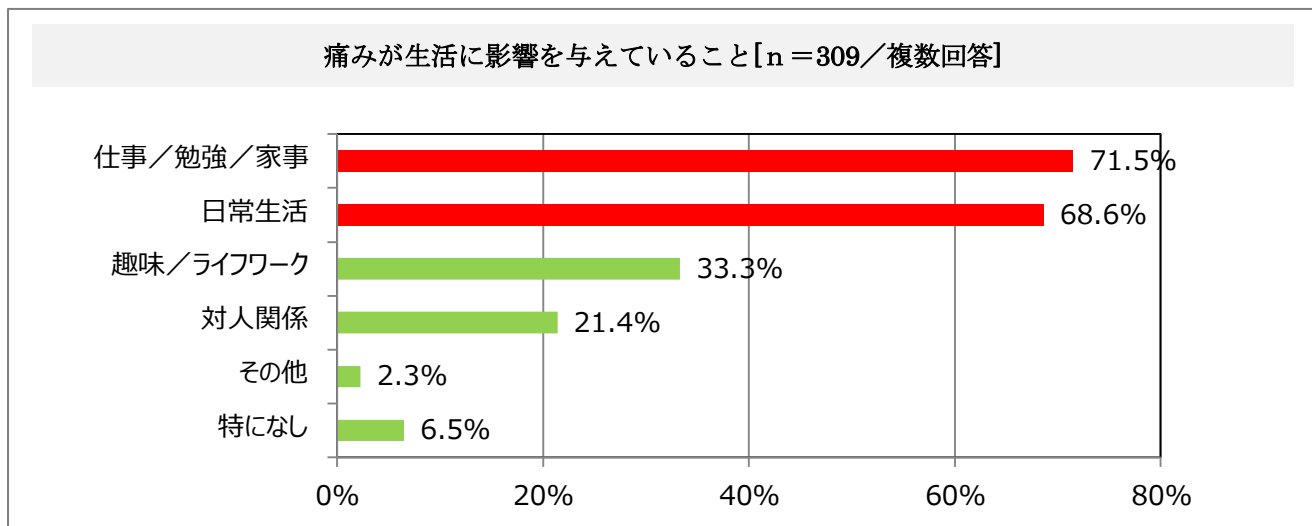
今回の調査の主な結果は次頁の通りです。詳細なデータを両社の[ホームページ](#)に掲載しております。

*1：20歳以上男女／医療機関で線維筋痛症と診断され、現在治療中または治療を行っていた方

*2：日本線維筋痛症学会編：線維筋痛症診療ガイドライン2013, pp.13-14, (2013)

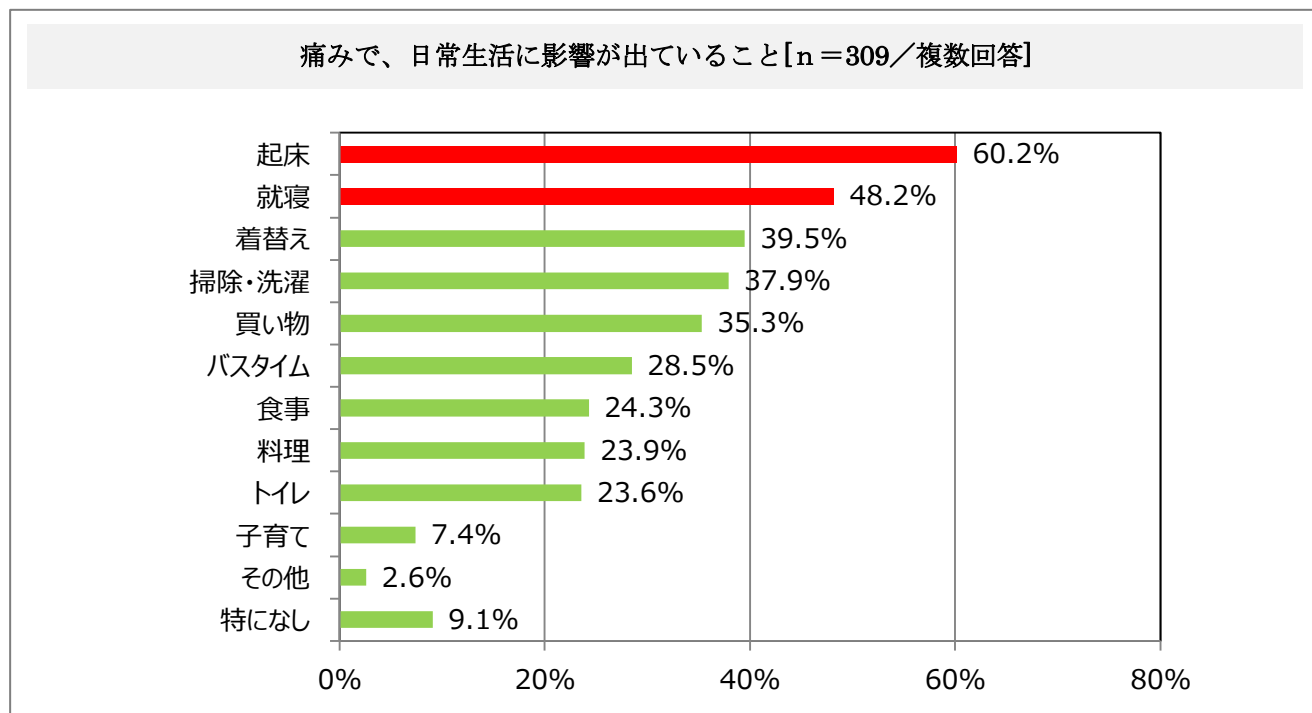
1. 約7割が、痛みが「仕事、勉強、家事」や「日常生活」に影響していると回答

痛みが生活に影響を与えていることがあるか尋ねると、「仕事、勉強、家事に影響している」(71.5%)「日常生活に影響している」(68.6%)と、多くの方が、生活への痛みの影響を感じていました。



2. 痛みで日常生活へ影響が出ていること、1位は起床 (60.2%)、2位が就寝 (48.2%)

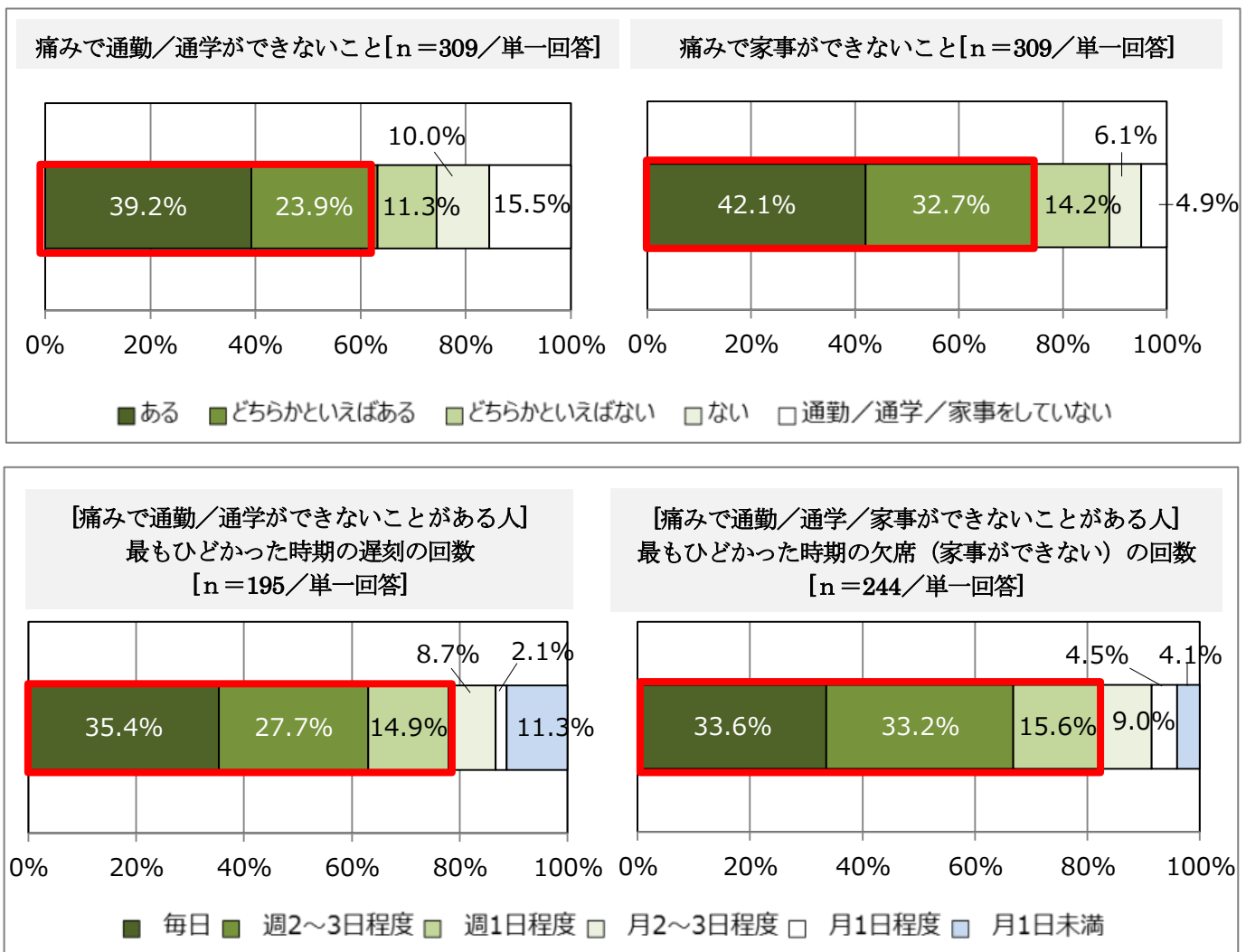
痛みの日常生活への影響について尋ねると、1位が「起床」(60.2%)、2位が「就寝」(48.2%)と、日常生活の基本となる部分に影響が出ていることがわかりました。



**3. 痛みで、6割以上が通勤・通学ができないことがある、7割以上が家事ができないことがある
約8割が、最もひどかった時には、週1回以上の遅刻や欠席(家事ができない)の経験がある**

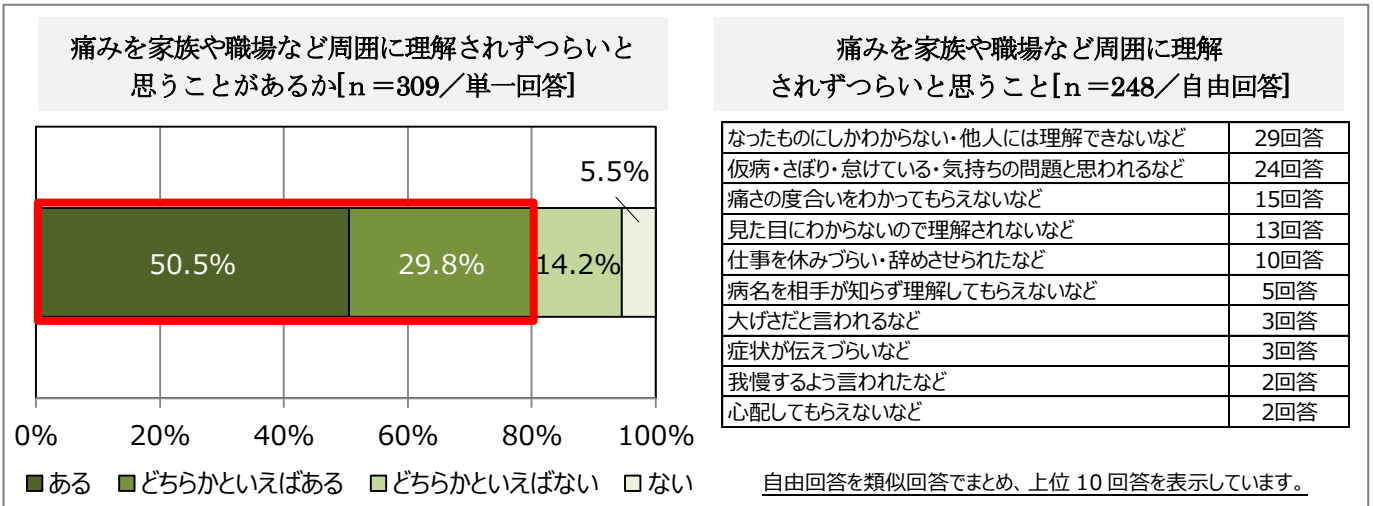
痛みが原因で、通勤・通学ができないことがあるかを尋ねたところ、「ある・どちらかといえばある」と63.1%が回答しました。また、家事ができないことがあるかの問いでは、「ある・どちらかといえばある」と74.8%が回答しました。一方、「ある・どちらかといえばある」と回答した方に、最もひどかった時期の遅刻・欠席（家事ができない）の回数を尋ねると、遅刻は「週1日以上」（78.0%）、欠席（家事ができない）は「週1日以上」（82.4%）でした。

痛みは、仕事や勉強、家事に、非常に大きく影響していることがわかりました。



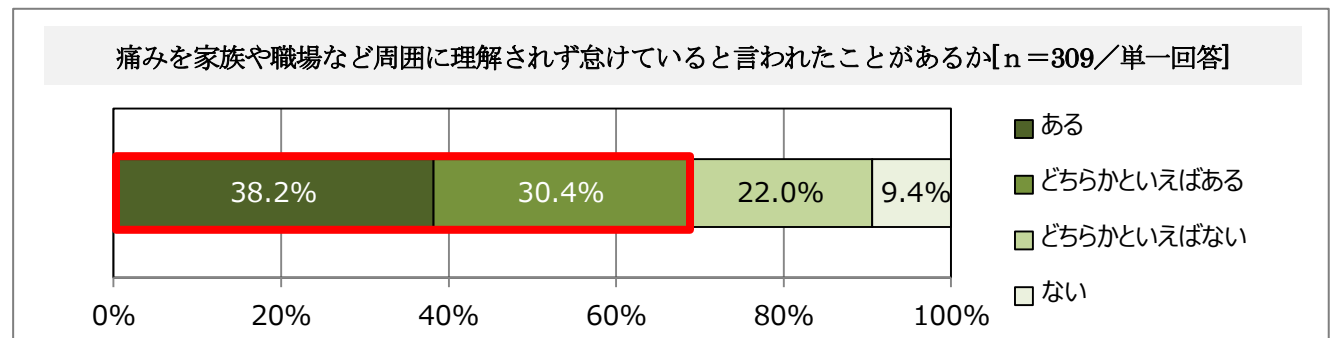
4. 8割以上が、家族や職場など、周囲から痛みが理解されずにつらいと回答

家族や職場など、周囲から痛みが理解されずにつらいと思ったことがあるかを尋ねたところ、「思う・どちらかといえば思う」と80.3%が回答しました。痛みが周囲に理解されていないことで、精神的な負担を感じている方が多いようです。



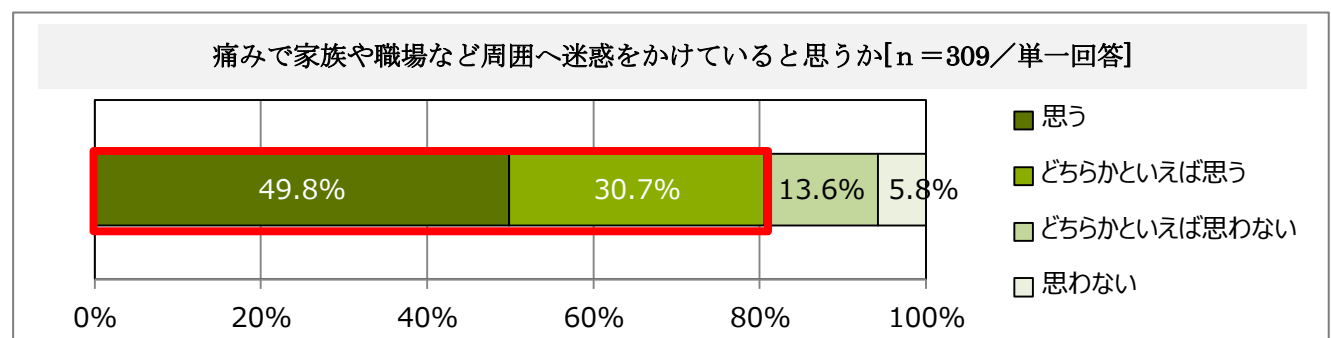
5. 約7割が、家族や職場など、周囲から痛みが理解されず怠けていると言われたことがある

周囲から痛みを理解されず、怠けていると言われたことがあるかを尋ねたところ、「ある・どちらかといえばある」と68.6%が回答しました。痛みが生活へ及ぼす影響を、周囲からは怠けていると思われる方が多いようです。



6. 8割以上が、痛みで、家族や職場など周囲へ迷惑をかけていると思うと回答

痛みで、家族や職場など周囲へ迷惑をかけていると思うかを尋ねたところ、「思う・どちらかといえば思う」と80.5%が回答しました。自分自身の痛みが、周囲に迷惑をかけていると思いながら、日々生活を送っている方が多いことがわかりました。



調査概要

- 調査日：2015年5月15日～18日
- 対象：20歳以上男女309名
医療機関で線維筋痛症と診断され、現在治療中または治療を行っていた方
- 地域：全国
- 調査方法：インターネットアンケート調査（実査は株式会社マクロミルに委託）

以上

塩野義製薬株式会社について

塩野義製薬は、「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」という経営理念のもと、研究開発型の製薬企業として、患者さまに最もよい薬をグローバルに提供することに注力しています。感染症、疼痛・神経領域を研究開発の重点疾患領域とし、さらに、肥満・老年代謝性疾患や腫瘍・免疫疾患など、新たな疾患領域の研究開発にも取り組んでいます。塩野義製薬は、これらの疾患領域における革新的新薬の提供を通じて、世界中の皆さまの健康とQOLの改善に貢献してまいります。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.shionogi.co.jp>

日本イーライリリー株式会社について

日本イーライリリー株式会社は、イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、本年設立40周年を迎えます。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠如・多動症（AD/HD）、がん（非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫、胃がん）、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症などの治療薬を提供しています。また、アルツハイマー型認知症、関節リウマチ、乾癬、高コレステロール血症などの診断薬・治療薬の開発を行っています。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.lilly.co.jp>

◆線維筋痛症に伴う疼痛についてさらに知りたい場合はこちらをご覧ください

線維筋痛症 Web サイト 「知っておきたい線維筋痛症と痛み」

<http://senikintsusho.com/>